

2013年12月16日

米ガートナー社のクラウドリカバリーサービス事業者評価レポートで NTT コミュニケーションズが最高評価を獲得

NTT コミュニケーションズ（略称：NTT Com）は、米大手 IT アドバイザリ会社ガートナー社が 2013 年 11 月に発行した、クラウドを活用したバックアップやリカバリーサービスをグローバルに提供する事業者の提供能力を評価するレポート「Critical Capabilities for Recovery as a Service (RaaS) 2013」において、評価対象となった 11 事業者中、最高評価を獲得しました。

本レポートは、ガートナー社が、各社が提供するクラウド型のバックアップ、リカバリーサービスを、品質と実現性に関する 6 つの評価軸それぞれにつき、5 段階で評価するものです。今回の“RaaS”における 6 つの評価軸は、①サービスの総合評価^{*1}、4 つの利用ケース（②アプリケーションデータの復旧、③基幹系システムの復旧、④障害時のアプリケーション復旧運用、⑤アプリケーション切替）における適応性の個別評価、⑥4 つのケース総合評価、で構成されます。

また、本レポート評価対象の 11 社は、クラウドを活用したバックアップ、リカバリーサービス（RaaS）の提供能力や提供実績など、ガートナー社が設定した基準^{*2}に合致する、通信事業者、SI 事業者、ハードウェアベンダー、クラウドサービス事業者などです。

NTT Com のバックアップ・リカバリーサービスは、6 つの評価軸のうち、5 つの軸^{*3}において評価対象 11 事業者のうち最高評価を獲得しています。

“Critical Capabilities for Recovery as a Service (RaaS) 2013”の詳細は以下ガートナー社公式サイトよりご覧ください。（英語のみ）

<http://www.gartner.com/reprints/ntt-com?id=1-1NE41A6&ct=131125&st=sb>

NTT Com は、「Biz ホスティング Enterprise Cloud」などのクラウドサービスにより、お客様のシステムやデータのバックアップやリカバリー機能をもつ ICT 基盤をグローバルで提供中です。また本レポートの評価対象サービス「Cloud Recovery」は、現在米国のお客さまを中心に提供中です。ご利用のお客さまは、対策が必要なアプリケーションサーバに対して、ポータルサイトから、復旧用リソース追加、切替テスト実施、障害時の本番環境から復旧用リソースへの切替が実現でき、これらは分単位の従量課金により提供されます。「Cloud Recovery」と「Biz ホスティング Enterprise Cloud」、コロケーションエリアの物理サーバとの連携（ハイブリッド提供）も予定しています。

(参考) ガートナー社について

1979年に創設されたガートナーは、米国コネチカット州スタンフォードに本拠を置く業界最大規模のITアドバイザリ企業です。世界に85の拠点をもち、約1,390人のリサーチ・アナリストおよびコンサルタントを含む5,300人以上のアソシエイツで構成されています。

<http://www.gartner.com>

- *1：物理および仮想サーバ双方へのサポート、低価格でのテスト環境の提供、復旧期間および復旧ポイントの保証オプション、明確な課金体系、柔軟なレポートサービス、セキュリティおよびコンプライアンス、特定業界における規制対応、などの項目による評価
- *2：1年以上のサービス提供実績、50以上の仮想的システムサポート、25社以上の顧客実績、IaaSの補完サービスとしての提供、SLAの提供、ネットワークの耐障害性、従量課金というなどの基準
- *3：①サービス総合評価、4つの利用ケースのうち3ケース（③基幹系システムの復旧、④障害時のアプリケーション復旧運用、⑤アプリケーション切替）、⑥ケース総合評価、で最高評価を獲得